

**第7回 契約・調達管理会議
議事要旨**

1 開催日時

令和5年12月19日（火曜日）15時00分から16時00分まで

2 開催方法

オンライン

3 出席者

(1) 委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鶴川 正樹	監査法人ナカチ／公認会計士
小澤 洋之	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営 本部財務部シニアマネージャー
清水 俊二郎	東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
滝口 広子(※)	北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
灘野 邦敏	一般財団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会
藤川 太郎	一般財団法人全日本ろうあ連盟

(※)会議欠席のため意見代読

(2) 事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

(1) 開会

(2) 議事（発言者の敬称略）

ア 東京2025デフリンピック大会備品等に関する計画アドバイザー委託【資料1】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

(ア) 競技・会場運営計画の策定にあたり、関係者との調整が令和6年度から本格化するため、令和5年度のうちに基礎的な要件等を整理する必要がある。このうち大会備品、特に会場運営の備品、消耗品等については事業団職員にて必要数を積算しているものの、ブロックプランに重大な影響を及ぼすものであることから、事業者の専門的な知見による支援を受ける必要がある。

(イ) 事業団にて作成した競技・会場運営に必要な備品の計画内容に関して、備品等の品目、数量及び備品等の配置について、アドバイザー業務を委託する。

<質疑・意見など>

滝口(代読)：どのような業種の業者による入札を想定しているか。

担当者：スポーツを含むイベントの企画や会場の設計、運営管理をメインで手掛けている業種の事業者を想定している。

滝口(代読)：本委託を行わないとできない業務なのか。

担当者：競技・会場運営計画のうち、競技運営にあたっては、競技に関する知見を有する競技団体等の監修を受けて検討を進めているところである。一方で、今回アドバイザーをお願いする会場運営に係る部分については、競技団体主催の大会であっても、専門の事業者に委託することが多いことから正確な監修を受けるのには限界がある。令和6年度から本格化する施設管理者、警察・消防、保健所などの関係者との調整に向け、会場運営に必要な備品を適切に把握し、会場運営計画に反映させるため、専門的な知見を有する事業者からの監修を受ける必要がある。

鶴川：後続する契約として備品の調達等があると思うが、今回の委託契約との関連性、具体的には、後続の契約の入札参加に条件を付けるなど何か考えがあるか。

担当者：現時点では、今回の契約の落札業者を、後続の契約手続において制限することは考えていない。なお、今回の契約の落札業者が有利にならないように、委託成果品を公表することを考えている。

藤川：本契約において情報保障の観点は考慮されているか。

担当者：情報保障に係る機器の配備等の計画については、本契約の仕様に含まれていないため、別途検討していく。

イ 東京 2025 デフリンピックへのサポートに係る調査分析・広報委託業務【資料2】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

(ア) 競技団体、区市町村及び当事者団体等と連携した取組の展開や、寄附、クラウドファンディングなど、より多くの人々が参画し大会を作っていくための仕組みづくりをすることが開催基本計画にうたわれている。

(イ) 本契約では、開催基本計画に基づき、大会へのサポートの輪を広げていくためには、どのようなプロモーション活動が必要になるかを調査する。また、調査結果を分析し、企業や個人へ訴えかけていく方策の提案と、広報活動の一環として、フライヤーのデザイン作成を委託する。

<質疑・意見など>

滝口(代読)：どのような業種の業者による入札を想定しているか。

担当者：主にコンサルティングの事業者を想定している。

滝口(代読)：業務の内容について、ヒアリング、分析を行うことと、デザイン作成の業務は、性質が異なるが、同じ業者に委託するのか。

担当者：本大会をサポートするために、どんなことが必要になるか等意見を伺った上で、その成果をチラシ等に落とし込んで企業へ訴求していきたいと考えていることから、ヒアリング及び分析とデザイン作成を一体的に考えて委託する。

滝口(代読)：デザイン作成に関して、成果物はどの程度のものを想定しているか。具体的には、文書のコンテンツや、文章の配置といった程度か、あるいは、新しい素材やいわゆる作品というレベル感のものを作ってもらえるのか。

担当者：作品というレベルまでは考えておらず、企業目線で効果的なキャッチフレーズやアスリートのコメント等を含めて配置しながら、企業へ効果的に訴求できるレベルのものを考えている。

鶴川：本契約に関連する後続の契約において、今回の委託を請け負った業者が有利にならないように、競争が公平になるようにする必要があると思うが、現時点で何か考えがあるか。

担当者：後続の契約については検討中であるが、後続の契約を行う際は、今回の契約の落札者が有利にならないよう考慮して進める。

藤川：大会そのものへのサポートだけでなく、デフスポーツの知名度向上、障害者のプロアスリート雇用、手話言語の普及、障害のある人もない人も共にスポーツを楽しめる多様性を尊重した共生社会の実現など、一般的な国際大会とは違った側面から視点を広げていくことについても検討をお願いしたい。

担当者：企業と認識を合わせていきながら、進めていきたい。

灘野：障害者雇用に関する内容は仕様に含まれているか。

担当者：障害者雇用促進法に定める障害者の法定雇用率を上回っていることを参加資格にしている。

ウ デフリンピック準備運営本部用グループウェア等の各種ライセンス調達、環境構築、運用支援及び情報環境保守業務委託（その2）【資料3】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

(ア) 令和6年4月に予定しているデフリンピック準備運営本部の体制拡大に備え、PCに関するセキュリティも含めたネットワーク環境の構築と保守契約を行う。

(イ) 特命随意契約先として考えている業者は、令和5年8月からのデフリンピック準備運営本部のネットワーク稼働に合わせて環境構築・保守業務を実施している業者である。本業務を確実に実施し、セキュリティ事故及び情報漏洩等のインシデント

が起こるリスクを未然に防止するためには、本システムの構成や詳細な設定内容を熟知している当該業者が本業務を行う必要があるため、特命随意契約とする。

<質疑・意見など>

藤 川：ネットワーク環境を作って終わりか、あるいは、セキュリティ事故及び情報漏洩等のインシデントが起きた後のフォローも含まれるか。

担当者：環境構築だけではなく、保守管理も含めたものである。

鶴 川：調達数については多少の増減も想定しているか。

担当者：今後調達数に大きな乖離が発生するようであれば契約変更も検討していく。

エ 通信機能付きスマートフォン端末利用環境の提供（令和6年度増員分）（単価契約）

【資料4】

<説明・確認>

・ 案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

（ア）第6回契約・調達管理会議に諮り契約手続を進めたところ、入札結果が一者入札となったため契約締結前の案件として付議する。

（イ）辞退した業者にヒアリングしたところ、仕様内容に関わらず事業者の判断により辞退したことを確認した。

<質疑・意見など>

藤 川：辞退した業者はどのような業種の業者か。

担当者：携帯電話の代理店と聞いている。

オ 委員長によるまとめ

・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続を進めていただきたい。

（3）閉会